

復刊 大学さま



神紋：丸に五三桐

狛犬

神前守護や魔除けの役割を果たす守り神

お互いを感じ
阿吽の呼吸
息を合わせる心



北館神社参道にある一対の狛犬（右は口を開ける阿形と左は口を閉じる吽形）

狛犬は、神社の参道や社殿前に一対で置かれているのがよく見られます。魔除けや神前守護の役割を果たす守り神の像です。邪悪なものが神社に入らないように魔除けとして置かれています。神様や祀られている場所を守る番犬のような存在です。

拝殿に向かって右側の口を開いているものが阿形（あぎょう）でこれが獅子。左側の口を閉じて角があるものが吽形（うんぎょう）でこれが狛犬です。逆のものや両方口をあけているものもあります。呼び方も現在は単に「狛犬」と呼ばれるようになりました。

この「阿吽」（あうん）とは、もともインドのサンスクリット語の最初音「あ」と最後の音「うん」を表しており、「阿」は口を開いて最初に発する音であり、「吽」は口を閉じたときの最後の音であり、阿吽

は「最初から終わりまで」を意味し、万物の始まりと終わりを象徴するものとされています。

古くから「阿吽の呼吸」という美しい言葉があります。これは神社の狛犬が「あ」と「うん」の形で対をなすように、お互いを感じ、息を合わせ、心を意味し、言葉を交わさずとも、相手の思いを察し、自然に動く、その背景には相手への信頼の気持ちがあります。阿吽の呼吸は効率でも合理性でもない、人と人との信頼のリズム。

現代社会は便利さとスピードを手に入れましたが、人と人との関係はどこかギスギスし、言葉の奥にある思いが届きにくくなっているように感じます。瞬時につながる時代なのに、心の距離はむしろ広がっている感じがする今日この頃です。

「まつり」の語源とその意味は？

神社への参拝は正しい作法によって行い、祈願が叶えられたらお礼の参拝をするように心構えましょう。

でしよう。あの神と共神が「まつり」となり、神人共食（神に捧げたものを、共に飲み食べることで、神により近づける、力を頂けるという発想から生まれた行為）をして神とい踊り、人々が楽しみつつ神を喜ばせ、るこが「祭」となっ歌をいたのではないうか。る「祭」にょって集団がどうあべきか、農作業をどうすべきを決め、「祭」によって集団の意欲を高めストレスに対処する。「祭」も「祀」も、政治なのです。そのため「政（まつりごと）」という漢字もあてられるようになっただけです。「まつる」とは、日本人が集団生活を始めたときに自然発生的にできた、神と人、人と人とを結ぶ絆のようなものを意味しているのかもしれない。



令和7年下半期の活動

【北館神社日誌】

【6月】

- 4日 神社庁東田川支部第六区会
総会(老人福祉センター)
- 8日 見龍寺大般若(大学さまの菩提寺)
- 26日 神社庁東田川支部関係者大会
(響ホール)
- 27日 樹木伐採祈願祭(狩川山沢様)
- 30日 夏越の大祓

【8月】

- 3日 樹木伐採祈願祭(狩川佐々木様)
- 23日 東田川支部六区会評議員会
- 24日 魂抜き祭(狩川遠藤様)

【9月】

- 1日 北館神社崇敬会大祭
9月1日午後3時から北館神社崇敬会大祭が厳かに執り行われました。北楯大堰からの恵みを受けて豊穰の秋を迎えられたことに感謝。関係者が玉串奉奠を行いました。祭典終了後、総会が開催され、事業報告、会計報告が行われました後、齋藤秀樹崇敬会会長から北館神社への寄付金が贈呈されました。
- 2日 北館神社講社大祭
9月2日午前10時から斎行し、講員100名が参列、山野海の神饌が献じられ、宮司の祝詞奏上では、報恩感謝と五穀豊穰、講員の家内安全を祈願。
- 14日 商売繁盛祈願祭(川口市鈴木様)

【10月】

- 8日 神宮大麻頒布式(出羽三山神社)
- 22日 神社庁六区研修会
- 30日 工事安全祈願祭(林建設KK様)

【11月】

- 28日 秋祭
11月28日午前11時から北館神社の秋祭が行われ、今年の豊作に感謝し、責任役員が玉串奉奠を行いました。

【12月】

- 8日 針供養(株式会社カリカワ様)
- 31日 年越の大祓



令和8年(2026) 主な祭典行事予定

元旦祭	1月1日 午前9時30分
春祭	4月24日 午前11時
前夜祭・墓所祭	4月30日 午後2時
例大祭	5月1日 午前10時
夏越大祓	6月30日 午後4時
崇敬会大祭	8月下旬
講社大祭	9月2日 午前10時
秋祭	11月27日 午前11時
年越大祓	12月31日 午後2時

令和7年下半期の活動 【兼務社日誌】（10社）

八幡神社・瀧澤神社・御嶽神社・皇大神社・
薬師神社・三上神社・廣田神社・熊野神社
・西田神社・阿古屋稲荷神社

【7月】

- 1日 薬師神社風祈禱
15日 八幡神社惣代会
31日 八幡神社大祓 神輿洗い

【8月】

- 15日 皇大神社例祭
16日 御嶽神社例祭
18日 三上神社例祭
20日 八幡神社前夜祭
21日 八幡神社例祭
22日 八幡神社馬場地域安全祈願祭
熊野神社例祭
27日 瀧澤神社前夜祭
28日 瀧澤神社例祭

【9月】

- 1日 阿古屋稲荷神社秋祭
藤乃森稲荷神社講祭
7日 薬師神社秋祭
楯山城主斎藤新九郎墓所祭
13日 西田神社秋祭

【11月】

- 22日 御嶽神社新嘗祭・古峯講
23日 八幡神社新嘗祭
皇大神社新嘗祭
三上神社新嘗祭・御歳夜
薬師神社新嘗祭
28日 瀧澤神社新嘗祭

【12月】
28日 御嶽神社大祓

令和8年(2026)

厄年早見表

*年齢は数え年です

厄年とは、一生の中で最も災厄が多い年齢をいい、ちょうど身体の変調期や社会環境の変わり目に当たり、何かと体調を崩しやすい年回りとされています。厄払は、私たちのご先祖様が長い歴史の中で培ってきた生活の知恵ともいえるでしょう。

	前厄	本厄	後厄
大人 男性	平成15年（2003年）生 24歳 ひつじ	平成14年（2002年）生 25歳 うま	平成13年（2001年）生 26歳へび
	昭和61年（1986年）生 41歳 とら	昭和60年（1985年）生 42歳 うし	昭和59年（1984年）生 43歳ねずみ
	昭和42年（1967年）生 60歳 ひつじ	昭和41年（1966年）生 61歳 うま	昭和40年（1965年）生 62歳へび
大人 女性	平成21年（2009年）生 18歳 うし	平成20年（2008年）生 19歳ねずみ	平成19年（2007年）生 20歳 いのしし
	平成7年（1995年）生 32歳 いのしし	平成6年（1994年）生 33歳 いぬ	平成5年（1993年）生 34歳 とら
	平成3年（1991年）生 36歳 ひつじ	平成2年（1990年）生 37歳 うま	昭和64年 平成元年（1989年）生 38歳へび
	昭和42年（1967年）生 60歳 ひつじ	昭和41年（1966年）生 61歳 うま	昭和40年（1965年）生 62歳へび

新たな授与品

絆守

人と人との
心の結びつき



人と人との深い絆は互いの信頼と共に築かれ心も平穏になります。又その絆が強固であればどんな困難にも立ち向かう勇気も与えてくれます。

北館神社には主君と家臣の立場を超えた深い絆により厳しい困難を乗り越え大成功を遂げたお話があります。

今から四百年以上昔の西暦一六〇〇年に天下分け目の関ヶ原の戦いがあり時を同じくして山形・長谷堂でも徳川方の最上義光と後方方の上杉景勝が戦い徳川方の勝利となりました。その為徳川方にはこれまで上杉藩の所領であった庄内立川地区の守りを藩主最上義光（義光公）の命により家臣北館大学助（大学公）が重任しました。大学公はこの事を大変苦しい思いよりも藩主を敬愛し又領地領民の事を考えておりました。そしていつ戦いがあってもすぐに出陣できるようにと武器の常時点検と有事の時の機転を怠りませんでした。この事が義光公の目に留まり信頼されていったといわれております。それから度々交流を重ねていく中で互いの人を大事にする思いやりのある人柄に惹かれあつていったのです。人は身分の上下の前に人間同士の心の関わりを大切に考えます。そして人は一人では生きられない助け合うことによつてお互いが生かされていくということです。大学公は義光公とのその強い信頼の下に絆を深めていきました。そして替国にあえぐ領民を何とか救いたいと思ひ広大な荒地に水路を引くことを考え大規模な開墾工事を官費の上で自分の命と引き換えに義光公に進言したのでした。義光公は大学公の領民を大切に思う心と大学公の進言であれば周知に工事を進めようというこれらでの信頼関係に基づき工事着工を決定されたのです。そして工事に伴う一切の労役と金銭も思うように使つて構わないとお達しがありました。大学公も義光公の懐の深さに感服致し工事完成を誓ったのです。義光公にそうまで言わしめた事こそその絆の深さに相違ありません。心が折れ切腹を決意するほどの難工事ではありましたが見事に乗り越え完成となり領民達は歓喜の涙に溢れたという事です。現流域には次々と領民が移り住み新しい村々が多数出来ました。田畑も多くなりこの大堰は庄内地方の豊饒と米どころ庄内平野の礎となったのです。その後領民達は豊かになつたが、いかに感謝の心で大学公を水の神様として祀つたのであります。そして現在も北館大堰として皆様に命の水をお届けしているのです。

人と人との深い絆は大きな力となつて互いの信頼は思いやりとなり世界平和に繋がっていくことでしょう。

絆

心身を祓い清めて疲れた心をリフレッシュ!

清浄な本来の姿を取り戻す大祓

来年1年の無事と平安を祈願

大 祓

12月31日
午後2時

受付 午後1時

大祓(おおはらえ)

は日本人の伝統的な考え方に基づくもので、「常に清らかな気持ちで日々の生活にいそしむ」よう、自らの心身の穢れや災厄の原因となる諸々の罪・過ちを祓い清めることを目的としています。

この行事は、古事記や日本書記に見られる伊弉諾尊(いざなぎのみこと)の禊祓(みそぎはらえ)を起源とし、宮中においても古くから行われてきました。中世以降、各神社で年中行事の一つとして普及し、現在では多くの神社で毎年行われています。



元旦祭

1月1日

午前9時30分

受付 午前8時30分

新しい年の新

しい月の新しい日に、来年1年の家内安全・身体堅固のお願い事を神前で手を合わせてはいかがでしょうか。



当日参拝者には干支の絵馬と家庭本歴(神社庁編)を差し上げます。

郵送による祈願受付もお受けします

申込書を送付しますので、内容をご記入の上お申し込みください。

北館神社社務所 0234-56-2709

《編集後記》

日頃から北館神社の御祭神北館大学助利長公(愛称大学さま)への篤い崇敬の念をお寄せいただいていることに心より御礼申し上げます。

今号から新たに社団法人農山漁村文化協会が発行した「江戸時代 人づくり風土記 北楯大堰 北館大学による用水路開削」を4回程度のシリーズで掲載します。ご期待ください。

●発行: 別表神社 北館神社社務所
(6月・12月の年2回発行)

●住所: 山形県東田川郡庄内町狩川
字笠山400番地

●電話: 0234-56-2709

●メール: kitadatejinja.jimu@gmail.com

●郵便為替口座: 02260-9-138163
北館神社

*北楯大堰・北館神社・北館大学助利長公に関する情報をお寄せください